

【高山村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- ・1人1台端末の活用を通じて、児童生徒が自ら考え、主体的に学ぶ力を育むことを目指す。個別最適な学びと協働的な学びの両立を図り、デジタル教材や学習支援アプリの活用による個別学習の充実、オンラインツールを用いた共同学習の促進、調べ学習や発表活動を通じた探究的な学びの強化など、多様な学習スタイルに対応できる環境を整える。
- ・ICTを活用することで学習の記録や振り返りを容易にし、児童生徒が自らの成長を実感できるようにする。さらに、教職員の指導方法にも変化をもたらし、より多様な教材の活用や、1人ひとりに寄り添った指導の実現を可能にする。
- ・各教室の黒板をホワイトボードにし、プロジェクターを設置することにより、端末が使いやすい環境を作っていく。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA スクール構想の第1期において、すべての児童生徒に1人1台端末が整備され、ICT環境が大きく前進した。授業での活用が進んだことで、学習の効率化や児童生徒の主体性の向上が見られた。一方で、端末の活用状況には学校や学級、教科ごとに差があり、操作スキルや活用の習熟度にも個人差があった。

また、通信環境や端末管理の課題、教職員の指導スキル向上に関する支援の必要性も明らかになった。これらの成果と課題を踏まえ、第2期では、より効果的な活用を目指し、具体的な取り組みを進める必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

① 学習活動の充実

- ・各教科におけるICTの活用方法を整理し、端末を活かした授業づくりを進める。
- ・個別学習と協働学習のバランスを考慮し、児童生徒が自然にICTを活用できる環境を整える。

② 教職員の指導力向上

- ・教職員がICTを効果的に活用できるよう、研修や実践的なサポートを充実させる。
- ・ICT支援員を活用し、教職員の支援を充実させる。

③ 環境設備と運用の最適化

- ・端末やネットワーク環境の維持・管理を適切に行い、安定した運用を確保する。
- ・児童生徒が端末を適切に活用できるよう、リテラシー教育や持ち帰りに関するルールを明確にし、家庭での適切な端末活用を促す。